

「式 辞」

4月8日にスタートした1学期も今日で終了します。今日まで授業日数は69日を数えました。みなさんにとってこの69日間はどうかだったでしょうか。みなさんはこの後担任の先生から通知票をもらいます。各教科の評定や担任の先生の所見を読み、良かった所は更に伸ばし、反省すべきことは素直に改善して次のステージに活かしてください。

さて、この1学期、自分ができるベストのことをやって、自分で自分を褒めることができる毎日を送ることができましたか。以前に話したことで「失敗から学ぶ」や「平常心・克己心」について話しましたね。1学期のあの日、あの時間、あなたは学校行事、部活動、友人関係そして授業に真剣に取り組むことができましたか。

「皆さんだけでなく、人は誰でも初めての人生を生きています。ですから、失敗は付きものです。大切なことは、なぜ失敗したのだろうか？ どうすれば克服できたのだろうか？」と振り返ることです。失敗自体が恥ずかしいことでは決してありません。ただし、いい加減に取り組んだり怠けて失敗したりした場合は、そこから得るものはありません。前向きに精一杯取り組んでこそ、失敗が生きてくるのです。

学習面では、新たに「校長賞」を授与する取り組みを始めました。勉強でも「失敗から学ぶ」。「できなかった問題に徹底的に取り組む」ことこそ成績が伸びるコツです。ぜひ自分を奮い立たせ、2学期は校長賞を受賞してください。

「頑張った生徒が報われる」「一生懸命に取り組む生徒が馬鹿をみない」そんな学校を一緒に目指していきましょう。

生活面ではクラスメートや友人と良い人間関係が作れましたか。人をけなしたり心ない言葉をかける最低な人間には絶対にならないでください。「人に優しく、自分に厳しく」を実践してください。そして頑張った自分に対しては褒めてあげてください。

1学期、勉強での校長賞を始めましたが、2学期に新たな校長賞を設けたいと考えています。それは、「成績優秀部門」「成績向上部門」に続く第3弾。それは「善行賞部門」です。善行とは、人のために頑張った人や優しい心で心が和むことを実践した生徒にぜひ授与したいと考えています。勉強も勿論大切ですが、人にとって一番大切なことは、人を思いやる心や美しい心を持つことです。そんな心を持った生徒ばかりの植田東中生であってほしいと思います。

そしてもう一つ、ぜひ皆さんに実践してほしいことを話します。それは、「今を精一杯生きる」。過去になってしまった1学期を振り返り、反省すべき点はしっか

りと反省する。そしてこれからの未来である夏休みをどう過ごすかを深く考えてください。その上で、今を精一杯生きてください。

明日から37日間の長い夏休みに入ります。熱中症には十分に気をつけて、3年生は「希望する進路の実現に向けて」、1・2年生は「勉強と部活動の両立」を心がけて、夏休みにしかできないことに積極的に取り組んでください。

最後にもう一度話します。「失敗から学ぶ」、「人に優しく自分で自分を褒められる人に」そして「今を精一杯生きる」。この三つのことばを心の中で育ててください。

2学期が始まる8月26日の始業式に全員が元気に笑顔で登校することを期待し、式辞とします。